

2021年2月号 Happy通信

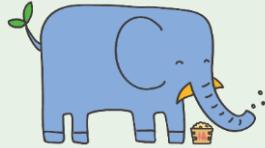
今年度も残すところ2か月となりました。子どもたちとの一日一日をますます大切に元気に過ごし、成長を見守りたいと感じる今日この頃です。

それでは、今月も教室のトピックスをたくさんお届けします。ご覧ください♪



【1月のトレーニング】

- 1月 5日～ お金の理解②
- 1月 12日～ 説明と報告
- 1月 18日～ 衝動のコントロール
- 1月 25日～ 疑問文



ハピテラダゾウ

【★教室からのお知らせ★】

【他の事業所との併用】

・原則として、日中活動系サービス及び通所支援事業所では、同一日における複数事業所の利用は認められません。

- ①通所受給者証を使って通うことができるは、1日1か所のみとなります。(欠席時対応加算も含む)
- ②同じ日に2か所以上の予約が取れた場合、利用しない事業所には早めにキャンセルのご連絡(ご利用日の3日以上前)をお願い致します。

また、ご不明な点がございましたら、

芝浦教室(03-6435-3386)までお問い合わせくださいませ。直接の連絡が難しい方や時間が合わない方はホームページにて、芝浦教室のメールアドレスが記載されていますので、そちらからご連絡ください。(shibaura@happy-terrace.com)

【アンケートのご協力ありがとうございます】

・2週間という短い期間にもかかわらず、約81%の回収となりました。ご協力いただきましてありがとうございます。皆様からのお褒めのコメントが私たちの励みになり、改善点などの意見により、今後少しでもより良い教室運営が出来るよう私たちも努める所存です。今後ともよろしくお願い致します。

【もし、濃厚接触者が出了場合はご連絡ください】

・万が一身近な人に濃厚接触者が出了場合は教室までご一報いただけますと幸いです。

・また、濃厚接触者ではないが芝浦教室に通ってもいいのか不安になった際は、いつでもご連絡・相談ください。

1月5日 運動

【的当てでお買い物しよう】

割りばし鉄砲(3発)で3オンスサイズの紙コップを狙い、倒した紙コップの中に入っているお金を獲得し、次のボールを投げる的当てへ移動する。ボール5球を1m程度の距離から線から出ないように立って投げる。倒した紙コップに入ったお金を獲得し、最後のお店屋さんで所持金内でお菓子カードを買う取り組みを行いました。



ハピテライオン

1月15日 SST

「巨大すごろくを作ろう」

配布されたプリントに、すごろくのマスの内容を考えて書く。教室の床に緑のテープを張り、コースを作つておく。各自が作ったマスを線の上に配置する。チームで順番にサイコロを回し、すごろくを行うという取り組みを行いました。



1月20日 SST

【ハッピークイズ! 答えテラス!】

クイズ番組の司会者と回答者になりきって、出題者は引いたカードのものを名詞や直接的な表現を使わずにヒントを出し、回答者は、答えが分かっても、回答時間まで言わずに、配布されたホワイトボードに司会者の合図で答えを書き込んだり提示しています。正解者には、ハッピーテラスキャラクターカードを配布し、一番多かった人が優勝する取り組みを行いました。



新型コロナウイルス対策

【来所について】

・ご来所の際は、コロナ感染症の予防により、教室内でのマスク着用をお願いしております。何卒ご理解・ご協力のほどお願い致します。また、職員もマスク着用で対応させていただきます。

・教室入室前の手洗い、うがいに加えて検温、アルコール消毒を実施しています。ご協力お願い致します。

【トレーニング中】

・コロナ感染症の予防により、教室内でのマスク着用をお願いしております。何卒ご理解・ご協力をお願い致します。また、マスクを忘れてしまう児童や、遊びの中で破損してしまうケースもありますので、予備を持たせていただけると幸いです。

【授業時間の変更について】

・今月より密を避けるため、分散での授業時間に変更しております。急な変更にもかかわらず、ご協力ありがとうございます。

	A (13:30～15:30)	B (13:30～16:10)	C (16:20～17:30)	D (17:40～18:30)
13:30～15:30	自由時間	自由時間		
15:40～16:10		トレーニング①		
16:20～16:50			自由時間	
17:00～17:30			トレーニング②	
17:40～18:00				自由時間
18:00～18:30				高学年講座

【2月のトレーニングの予定】

- 2月 1日～ 危険を避ける
- 2月 8日～ 自己紹介
- 2月 15日～ 交通ルール①
- 2月 22日～ 読み聞かせ



ハッピー



ハッピーハリー



Happy通信コラム(第7回案)

第7回 アサーティブ実践(其の肆 言語表現としてのアサーション)

これまでのコラムでは主に、アサーションの思考について触れてきました。

いよいよ今回からは、アサーティブな表現について見ていきたいと思います。

まず、最初に取り扱うのは言語表現、そう言葉です。アサーションもコミュニケーションの手法である以上、大きく分けて言語的なものと、非言語的なものがあります。

今回は、導入として、会話を始めたり、加わったりする場面を例に、メンテナンス(関係維持)のアサーションのポイントを3つに絞って説明していきます。

① 会話を始め、会話に加わるには

人それぞれにやり方があることだと思いますが、一般的に【挨拶】・【自己紹介】・【相手の名前を呼ぶ】・【質問をする】・【自分の意見を言う】・【話題をふる】などが方法として挙げられます。

上記方法の中で多くの方が難しいと感じるのは【質問をする】と【自分の意見を言う】かと思われます。何故なら他の方法と比較して、決まった言い回しが少なく(自由度が高い)、相手の出方によって、表現を臨機応変に調節していくことが要求されるからです。

これに関しては自分の関心のあること・訊きたいことを念頭に置いた上で、次に相手が得意なこと、興味を持っていることについて投げかけると良いでしょう。

質問をする際の例としては、「〇〇さん、△△がお好きとお聞きしました。私も△△に興味があるんですけど、何かおススメとかありますか?」という感じです。

質問には良い点もあって、ほぼ100%何かしらの返答が得られるという性質上、会話が続きやすいため、関わりの初期段階で用いる方法とは安全性が高いで

続いて、【自分の意見を言う】に関しては話題についての意見を示すだけでなく、自分の気持ちや状況を盛り込むことで、話の輪に加わりやすくなります。

例としては、「私も、その件に関しては賛成です。ただ、私としては▲▲が、もう少し××だと助かりますが…」という感じです。

特に日本人は、加わる際にもじもじしてしまう傾向が強いようですが、率直に「入りたいのですが、入れていただけませんか」と、伝えた方が相手に分かりやすいため、良い結果が得られることが多いです。

合わせて、多くの人が集まる場では、ふだんよりも多少大きな声を意識すること、一度上手くいかなくてももう一度挑戦する気持ちを持つことが重要です。存外、賑やかな声で聞こえていたただけ、というのもままあるものです。



① 会話を続けていくには

前項と同様に、個人で様々な方法はあるかと思われますが、【話の内容に変化を加える】、【話題(テーマ)を変える】が、方法として挙げられます。これらは即ち、内容が固定化せず、常に流動的で新鮮な状態を保つことが、会話の継続にとって重要であることを表しています。

やってしまいがちなのが、「話の方向と異なることを言ってはならない」という想いから、類似した内容で話をしがちです。それではいずれ話が尽きてしまいます。勿論、何かしら結論を出したり、問題解決を目的とした場面では、話があちこちに飛んでしまう事は好ましくないです。人間関係を円滑にする場面では、様々な見解や思考、感じに触れていくことが重要です。

合わせて話題を変えることも会話の継続にとって、大変重要です。言うまでもないことがですが、一つの話題で話せることには限界があります。

皆様もご経験があることと思われますが、会話の中で一段落した際には、ちょっとした間が生まれます。その際は、新たな話題を持ち出すチャンスです。具体的には、「前々からお話をしたいと思っていたのですが…」、「この間、テレビで見たんですけど…」、「そういえば最近…」などです。

対象と場面から選択できるように、いくつかのパターンを用意しておくと良いかと思われます。合わせて自身が話題を持っておくことは、話を求められた際にも活かせるため、普段から自身の興味のあることや、多くの人に向けて話せる話題を用意しておけるようある程度の知識を得ておくことも大切です。

① 会話を終えるには

最後に会話を終える方法についてもご紹介します。これも人によって様々な方法があるかと思われますが、【「それではこれで」、「次の用事がありますので」などの合図で一旦会話を切る】、【ぶっきらぼうにならないよう、別れの言葉を言う】、【次に関係を繋いでおきたい場合は、その気持ちを言語化する】、【もたつかずに、さっとその場を離れる】などが挙げられます。

世界的に見て、日本人は話を切ることが苦手な人種だそうです。これは、話を切れない理由を上手く言語化できていないことが関係しているようです。例えば「今日は楽しかったです。またお会いしましょう」「そろそろお時間ですね。名残惜しいですが、今日のところはこの辺りで…」のように次につながる言葉を添えて、さっと別れる事で余韻を残すと、逆に「また会いたい」と言う気持ちがお互いに生まれ、関係性が一層強くなることと思われます。

このように、何気ない日常会話の中でも、アサーティブな言語表現で他者と関ることで、人間関係の構築、促進、維持に繋がることが分かります。

次回は同じ言語表現の中でも、課題達成・問題解決のためのアサーションについて、紹介していきたいと思います。

2月